

誰も知らなかった真実の物語?! 新・白山=“ハム山”誕生物語

自己のワクワク“アセンション日記”より

世界初の **アセンション・アニメ?!**

『ハム(愛)パンデミック?! 中今のハム山2025』

《新・白山誕生物語》

【5】

2022年は自身にとって、車輪が滑走路から離れ、

いよいよ大空へと向かって飛び立っていく?! かなうような年でした。^^

地上セルフはこの年10月に、なんと“還暦”なるものを迎え、人生の大いなる区切りとして、

また決意として、3D から 5D へのシフト宣言(旧地球卒業宣言)をしました!

そして、『根源 AP(アセンションプロジェクト)・HAKU(hamu)SUN』の

＜ユニバース＞のコーナーが、＜NMC＞のコーナーへと

＜新 G＞のコーナーが、＜地上の新 G＞のコーナーへと、シフトしています。^^

2022年4月 宇宙はみんな愛と光の家族^^



この画像は、自身が初めて、“イラストレーター”(画像作成ソフト)なるものを使って描いた

「宇宙の中の地球」のイメージ(アニメーション)です。^^

残念なことに、地上セルフは小さい頃から絵が苦手(絵心なし…(^^;))で

これまでは“ワード”を使って、なんとか内なる思い(エネルギー)を表現してきましたが、その頃、イラストレーターを使ってみたい…との思いが強くなり、挑戦することにしました。^^

イラストレーターは以前から知っていましたが、絵やデザイン等の才能のある方や、

そういった職業の方が使うものと思い込んでいて、蓋をしていたのです。

思い切って使ってみると、意外な形で、大きな世界が見えてきた?!(意識の拡大?)というか、

多次元構造とされる宇宙の姿が、よりリアルなものとして感じられるようになりました。^^

イラストレーターは、何枚もの透明な画用紙のようなもの(レイヤー)を重ねて、

一つの作品として見る事が出来、その画用紙の一枚一枚が、

宇宙を構成する∞の次元界層の、一つ一つを象徴しているのでは?と。

例えば、一枚目の画用紙には自然界を描き、二枚目の画用紙にはそこに生きる植物や動物を、

三枚目の画用紙には人間社会を描き、これら三枚の画用紙が重なって出来た作品が、

今私達が“現実”と呼んでいる、この3D 世界です。^^

けれど実際には、まだまだたくさんの画用紙が重なって出来ているのが、この宇宙であり、

その全てを見渡している存在を、創造主(根源神)と呼んでいるのだと思います。^^

4枚目の画用紙に描かれているのは、時間や空間の制限から解放された、夜見る夢の中の

ような世界(アストラル界)で、そこには、宇宙と地上をつなぐアセンション・ゲート

=愛のエネルギーを司る“ハート(センター)”が存在すると言われます。

5枚目の画用紙(5D)は、ここまでの画用紙の全てを描いている、真の自己

=“魂”が存在する、自己の現実創造の場とされます。^^

今回のアニメーションは、桜の花が開きはじめた手取川河畔が舞台となっていて、

画用紙に桜を描いていると、なんだか夢見心地…、フワフワした感じとなり、

後から気付いた事です、桜の花びらはハートの形に似ていて、その時の地上セルフは、

4枚目の画用紙であるアストラル界にいたのでは?と。^^

そしてその奥に、ロックが掛けられた？もう一枚の画用紙がある事に気付き、
解除してみると…、なんと、根源エンブレム(根源太陽の象徴)が現われたのです?!

えっ～～?!



地上セルフは、それを描いた(置いた?)記憶がありません(?_?)

とりあえず何かの勘違い?なかったことに…(笑)したのですが、でも思い出しました。

ハムパンデミック?!自由で、ワード画面に現れた“白いハート”?!って、

これに似ている気がします?^^

そこは自室のパソコンの前…ではなく、宇宙の∞の時空とつながる“ゼロポイント”だった?!

描かれていた太陽は、人の中心太陽=“魂”であり、まさにハイアーセルフ(魂)がいる

5枚目の画用紙、と言えるのではないのでしょうか?^^

上記はその時の画像であり、自身の“ハートと魂”が視覚化されたかのような驚きと感動、

太陽と桜にみる日本の伝統美、“大和心の美しさ”と浮かびました。^^

太陽は黄金の“菊”でもあり、“菊”と“桜”は日本の国花、まるで新しい日本の国旗のようにも?

水瓶座時代を牽引していく日の本の姫神、“菊理姫”と“木花咲耶姫”がイメージされます。

そしてここは手取川河畔、“瀬織津姫”のお姿も…^^

この絵の、桜の間から見えてきたのが、クリスタル 5D?ハムです。(初登場!)

3Dハムが、より軽やかに、美しく?進化しました!(ライトボディ化したつもり…。)

さらに、太陽が“クリスタル新・地球”に、桜の花びらが“宇宙の星々”の姿へと変わり、

6枚目以降の景色(画用紙)＝多次元宇宙が開かれていきました。

ハート(ハム)は宇宙へのアセンション・ゲイトでもあり、まだロックがかかったままの、

高次元界から降り注ぐ、膨大なハート(愛)のエネルギーを受け止めきれず、

自身のハートの結界が破れ、涙が溢れ出しました。

宇宙は長い間人類を見守り、陰ながらサポートし続けてきたと言われます。

何故なら、私達は皆、遙か根源から旅に出て、様々な星での経験を経て(準備を経て)

今この地上にいるからであり、宇宙の全てが“愛の家族”だからです。^^

ハムだけは、決してそれを忘れる事なく、覚えていたのです。

中今、人類の意識が大いなる目覚めの時を迎え(4、5枚目の画用紙の存在に気付きはじめ)、

6枚目以降のロックが、外される時が来たのではないのでしょうか？(地球開星の時！)

空から？そして地中から？宇宙人さん達が現われはじめました。(イメージです^^)

自身は桜の季節に手取川河畔を訪れると、何故か「わっしょい！」と聞こえる？気がして、

なぜこの言葉なのか？不思議だったのですが、その意味がわかった気がします！

それは、新しい宇宙と地球を協働創造していく、新人類＝“神人”類という祭り神輿を担ぐ

宇宙人さん達の、希望と喜び溢れる掛け声だったのでは？と。^^

2022年9月 いよいよ、地上の新G現れる?!

2022年9月3日～5日の三日間を使って、

日本列島の縦軸とも言える、石川と和歌山をつなぐ旅に出かける事となりましたが、

自身をこの旅に誘ってくれたのは、空海&八咫鳥？という、想定外の方々？でした。^^

才知と行動力溢れる空海は、自身とは正反対の、雲の上の存在という感じだったのですが、

ある日ネット上で、“空海”の名前を耳にして、ふと意識を向けてみると、

これまで自身がイメージしていたのとは全く違う、ものすごくフレンドリー？というか、

まるで家族のような、暖かく優しいエネルギーを感じて、胸がジ〜ンとなり、

空海が呼んでいる？今私に何か出来る事があるような気がして、

高野山へ行ってみたい！と思うようになりました。^^

そして、何故八咫鳥なのか？というと、

その二月程前の朝、通勤途中のマイカーが、三羽のカラスさんに行く手を扶まれ？！

身動きがとれなくなってしまう…、という出来事があったからです。

自身の車が信号待ちをしていると、車道の真ん中を悠々と歩いていたので、
ひかれなか冷や冷やしていたのですが、青になり車を発進させると、そのカラスさん達が、
まとわりつく感じで取り囲み、進むに進めない状態となっていました…。

ラッシュ時の大通りで起こった事で、何かのメッセージでは？と気になっていたのです。

和歌山県には熊野三山があり、八咫鳥は「熊野の神の遣い」とも言われます。

そして、一度は見てみたいと思っていた憧れの？“那智の滝”のある所でもあります！

もう行くっきゃない！のです。^^



今回も、沢山の貴重な学びと体験があり、まだまだ解凍作業中？という感じでもあります、
熊野三山の最終地点“那智大社”で、カラスさんからのメッセージを受け取った？気がします。

那智大社は、“結宮(むすびのみや)”と称され、御祭神は熊野夫須美大神(伊邪那美尊)であり、

伊邪那美尊は、白山比咩神社御祭神の一柱でもあります。^^

全ての命の結び＝根源の愛の源への統合・回帰が、その願いであると感じます。

自身は神前で拝礼し、これまでの導きに対する深い感謝の祈りと、これからの決意を述べ、

頭をあげると、目に飛び込んできたのが、赤い矢印が描かれた標識?!

社殿左手にある、御縣彦社(みあがたひこしや)を指し示すものでした。^^

御縣彦社は八咫烏を祀る社で、その由緒書きを見てホッと、ウルウルしてきました。

「無事に道案内を終えた八咫烏は熊野に戻り、当社で石に姿を変えて休んでいる——」

もしかしたら、これが、カラスさんが自身に伝えたかったメッセージなのかも?と。

私達はずっと、カラスさんの陰の支えに守られながら、

日(太陽、愛、光)の本の“神人”となるべく歩んできたのだと思います。

ようやく内なる真の自己＝“魂”が目覚め、神人たる自覚が芽生え始めている。

カラスさんは大任を終え、共に新地球を協働創造していく日を心待ちにしている…と。^^

自身の中では、“八咫烏”と“新 G”とが重なって感じられていました。

八咫烏は、2008年まで(旧アカシックの最終?)、なんとしても日本の国体を守り抜くという

使命を担っていたとされますが、2009年以降も解放される事なく、

今日までできてしまったのではないのでしょうか?

これからは“新 G 八咫烏?”として、地球規模、宇宙規模の防衛や管理を担う

よりパワフルなラスさんとなっていくのでは?と。^^

カラスさんに感謝とお別れを告げ、高野山へと向かいました。

高野山は、和歌山県北部にある、“空海”が開いた真言密教の聖地とされます。

空海に高野山を授けたのが、“丹生都比売大神”であった事を、この時初めて知り、

先にそちらを訪れなくてはならないと思いました。

交通の便がいま一つだったので、一泊二日だった予定を一日延長し、

思い切って贅沢な宿をとり、丹生都比売の懐にドンと飛び込む?ことにしました。

(還暦を迎えるので、自分にご褒美を。^^)

電車の駅まで車で迎えに来て下さったホテルの方が、自身満々に(笑)
「不思議な事に、このトンネルを抜けると、天気が一変するんですよ！」とおっしゃった通り、
トンネルの向こう側は大雨となっていて、あれ～～、まさに？！

トンネルは、次元の境界線？

雨はすぐに止み、龍神さんのお出迎え？を感じて、嬉しくなりました。^^
チェックイン後、そこから歩いて20分程の所にある丹生都比売神社へと向かい、
到着のご報告と、ご挨拶をさせていただきました。

丹生都比売神社は、名前さえ知らなかった初めての地で、ここ天野の地は、
天上の「高天原」にもたとえられた美しい山里で、“かくれ里”とされていた事を知り、
大切に守られてきた秘境であることを実感しました。^^

また、神道と仏教が融合された、日本独自の宗教観である“神仏習合”を、
後世に伝えるものとして、世界遺産にも登録されているとの事です。

宿へと帰り、地物を中心とした美味しい夕食を堪能し、部屋へと戻ると…
何故かその日は、あらゆる全てと一体化する？！との大きな期待と予感があり、
「今夜はフリータイム！！ 神も仏も宇宙人さんも、みんなここに集まれー！！」と叫び、
一人ではもったいない大きな部屋のテラスで、いつまでも夜空を見上げていました。
けれど、神や仏のメッセージが聞こえてくる？ 訳でもなく、UFO が姿を現す?! 訳でもなく、
あの予感は幻想だったのか？と少しがっかりした、地上セルフでもありました。

後に、この日のコンテンツを作成している時、浮かんできたのが、
「自分などどこにもなく、けれど、自分でないものなど何一つない——、
という、この一見矛盾した感覚が、何の違和感もなく同時に存在している」
との思いで、それは確かに、地上セルフがその日その場で感じていた思いであり、
それこそが、全てとの一体化であり、あらゆる全てがそこにある、
“ゼロポイント”や“ワンネス”と呼ばれる時空そのものではないでしょうか？
地上セルフは未だ、3D 世界の価値観である、“目に見えるもの、形あるもの”に

こだわっていて、常に自身の外側に何かを探している事に気付き、ハッとしました。

外に何かを求めている限り、道は閉ざされたままなのではないでしょうか？

翌朝一番で、再び、丹生都比売神社を訪れました。

丹生都比売は、「天照大御神の妹神であり、稚日女尊とも称されます。」とあり、

真言密教は“大日如来”を本尊としているので、まさに丹生都比売は、

その神界の御姿であり、神仏習合の顕れと言えるのではないのでしょうか。^^

下記は、その朝、撮った写真です。

左手にあるのが、拝殿前から撮ったもので、社殿が少し歪んで見えます。

右手が、その奥にある本殿が見える場所まで、移動して撮ったもので、

拝殿が歪んで見えた理由でもある、渦巻くエネルギーがはっきりと写っています。



丹生都比売神社は、高野山一体に広がる大きなエネルギーの渦の中に浮かぶ

ホログラムなのかもしれません？^^

宿には高野山までの送迎サービスがあり、“奥の院”と言われる所まで送っていただきました。

弘法大師空海の御廟があり、高野山信仰の中心ともなっている場所との事で、

御廟まで続く道の両側は、時代・宗派の別を問わず、沢山の墓石で埋め尽くされていて、

空海が背負うものの大きさ、懐(愛)の深さを感じずにはいられませんでした。

御廟にて感謝の祈りを捧げ、自身は帰りの坂道を普通に下りていたつもり…？なのですが、

なんだか下の方が騒がしい？！と感じて、ふと見ると、人だかりがコチラの方をみていて、

次の瞬間、すぐ間近に“生身供”の列が迫っている事に気付き、ビックリ？！

なんとした失礼を…(^-;、慌てて脇へとそれ、控えました。

(生身供…1200年前から一日二回続けられてきた、空海に食事を捧げる儀式)

生身供の列が見えていなかった、自分に驚きで、

もしかしたらその時、自己の意識は、そこ(3D)に無かったのかも？かもしれません。

なぜなら、空海は今も奥の院で生きている…、と言われることが真実だと

その瞬間、わかったからです。^^

空海は今もここにある！ 私達の意識の中に、共に生き続けている、と。

真言密教には、「仏の慈悲」を描いた“胎蔵界曼荼羅”と、

「仏の智慧」を描いた“金剛界曼荼羅”があるとされ、その中心にあるのが“大日如来”です。

大日如来＝太陽を中心とした莫大なエネルギーと情報の世界を、

シンプルに美しく、愛(慈悲)と光(智慧)として、ビジュアル化したものが曼荼羅でもあり

自身はそこに、新 G＝新宇宙を創生する愛と光のシステムを感じます。^^



最初に空海に意識を向けた時に感じた、あのなんとも言えない暖かさは、

“根源太陽”パワーそのものだった！

空海は「弥勒の世に現れて衆生を救う」とされ、地上セルフは、

『根源アセンションプロジェクト HAKU (hamu) SUN』白山のコーナーに、

これまでひっそり？とあった <新 G> コーナーを

<地上の新 G> コーナーとして表に出し、その場を御準備いたしました！（笑）

中今、ワンネスとなった愛と光の高次の総称が、新 G でもありますので、

宇宙中の愛と光の使者の皆様へ、
『根源アセンションプロジェクト HAKU (hamu) SUN』

＜地上の新 G＞ コーナーへようこそ！！

ワクワク MAX！の協働創造を、どうぞよろしくお願いいたします。＼(^o^)/

2022年10月 還暦＝旧地球卒業宣言？！

2020年に誕生した＜ユニバース＞のコーナーが、2022年10月、

＜NMC＞のコーナーへとシフトしました！

その理由は、自身が還暦を迎え、「3D卒業宣言！」を行ったからです。^^

地上セルフの肉体は、まだ 3D地球にありますが、意識はNMC（新宇宙）にあり、

“霊主体従の法則”＝「見えない世界で起こることが、現実となる」です。(^.^)v

（肉体を持ったままアセンションする新地球では、“霊体一致の法則”？）

アセンションを学ぶことによって、いつの間にか意識が大きく拡大していて

これまでの人生を振りかえってみると、そこには悠久の宇宙史が重なって見えてくる感じ？

まるで「宇宙シアター」を見ている感覚でもありました。^^

コーナーの開設や変更等は、地上セルフは、こんなんでもいいのかしら…？と思いながら、

なんとなくやっていて、後から理由を考える?!でもあります…（笑）

Web を立ち上げた当初は、パソコンや IT に関する知識や経験が全く無く（今もですが…）、

莫大な情報交換の場であり、重要なエネルギー創造の座標となっていることや、

コンテンツの持つ意味等、理解も自覚もないままはじめていて

中今ようやく、その自由さと、∞の可能性に気付きはじめ、時々おかしくもあります。

そこは、意識が自由に動き回る事が出来る、“大宇宙”への滑走路とも言える場であり、

自給〇△円のパートのおばちゃんが、裏でこんな事をしてるなんて、誰が想像できるでしょう？（笑）

面白い時代となりました！^^